



2022年も「授業は考える場」！！



(問) この絵に描かれた状況を簡単に説明したうえで、それについてあなたが思ったことを述べよ。全体で60語～80語程度の英語で答えること。

始業式で披露した校長先生の解答は、どうでしたか！？何点ぐらいもらえそうだったでしょう。お話したとおり、これは数年前に東京大学で出題された英語の入試問題です。校長先生の解答は、東大合格を勝ち取るのに十分な内容だったかはわかりませんが、(問)に対する答えにはなっていたと思います。中学校で学ぶレベルの英語で何とかなっていたでしょ！？みなさんも校長先生のように「いまある力」で東大の入試問題に挑戦してみてください。

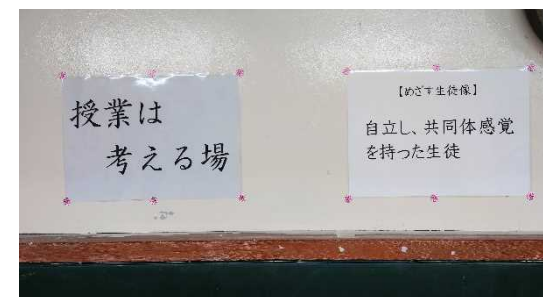
始業式で伝えなかったことは、「いまある力」でチャレンジすることの大切さです。授業では、仲間とともに徹底的に「考える」のです。昨年11月の中頃に、オンラインを通して校長室から各教室のみなさんにメッセージを送ったことを覚えている人もいます。

本校は、TOWA 7による学習を進めています。しかし、コロナ禍により、分散登校、向かい合えない学習など、なかなかTOWA 7を徹底することができませんでした。昨年の秋以降、コロナが下火になってきました。TOWA 7を取り戻すチャンスだったので、学習についてあらためてみなさんと確認しようと思いメッセージを送りました。その内容は次のようなものでした。

まず、一番大切なこと「授業は考える場」であることを確認しましょう。正解、不正解、○(マル)、×(バツ)といったことよりも大切なこと、それは、みなさんが「ああかな」「こうかな」と、あきらめず考えることです。それが最も重要です。ときどき、授業を参観していると「先生、教えて！」とすぐにお願している生徒を見かけます。そんなときは次のように伝えてくださいと、校長先生から先生たちにお願しています。「授業は考える場だから、先生は教えないよ」「グループの人に訊いて考えてね」。そんなん言っても、グループの誰もわからんのもんっていうときがありますよね。それでも、正解にたどりつかなくても「ああかな」「こうかな」と考えましょう。なぜなら、「授業は考える場」で、正解、不正解よりも大切なことが「考えること」。いずれ必ず実を結びます。そのためのグループ、TOWA 7です。机をぴったりくっつけて、まずは一人で考え、わからないときは「これ、どういうこと？」と訊き、訊かれたら、わかるときは丁寧に説明しますが、わからないときは「私もわからん、だから一緒に考えよう」と応じます。寝てしまったり、考えるのをあきらめている子には「どうしたの？がんばろう！」と励ましましょう。

さあ、みなさん、2022年も「授業は考える場」です。教科書や資料から学び取り、「いまある力」で仲間と一緒に、いっぱいいっぱい考えましょう！！

教室の黒板の上の掲示



いつも生徒を出迎え、見送ってくれる柱



昨年の文化的行事以来、生徒玄関の柱が鮮やかになりました。美術部員から東和中学校の生徒のみなさんへの様々な愛情と思いが込められ描かれた作品です。毎日、登校する生徒を出迎え、下校する姿を見送っています。新年になり、あらためてこの柱を見て癒され、元気もらっています。

「今年も、いろんなことがあるだろうな…。よーし、がんばるぞ！！」